

平成27年度 当初予算（案）

# 主な事業の説明書

生涯学習部

.....目

次.....

款	項	目	大事業	ページ
10	5	2	12 芸術文化振興費	9 - 1
10	5	5	16 総合市民会館運営費	9 - 2
10	5	6	14 払田柵跡環境整備事業費	9 - 4
10	5	6	15 払田柵跡土地買上事業費	9 - 5
10	5	6	17 旧池田氏庭園整備事業費	9 - 6
10	6	1	13 全県500歳・550歳野球大会関係費	9 - 7

※部毎に款・項・目・大事業の順番とする。

事業説明書

10 款 5 項 2 目 12 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 芸術、文化活動の振興

(基本事業) 文化活動参加機会の提供

【事業名】	芸術文化振興費				
【説明項目】	国民文化祭の継承事業等について				
【27年度】	5,577 千円	【26年度】	4,664 千円	【増減額】	913 千円

1. 事業の目的及び目標

「第29回国民文化祭あきた・2014」の開催趣旨となった「地域文化の発信と次世代の文化継承者育成」を目的とした国民文化祭継承事業を実施し、次世代の文化継承者育成と底辺拡大を図るものである。また、生涯学習機会の拡大として生涯学習施設に出向けない市民を対象とした出前体験講座を実施し、生涯学習活動の普及充実を図る。

2. 事業の概要

国民文化祭の継承事業及び新規事業を次のとおり実施する。

(1) 「囲碁サミット2014 in 大仙」継承事業・・・270,000円

○本事業の趣旨に沿い「子ども囲碁普及事業」にかかる公益財団法人日本棋院との協定を継続し、「子ども囲碁大会」及び「大仙囲碁合宿」を実施する。

○「市民交流囲碁大会」については、子ども世代を含む交流の機会を提供し、団体の自主的な活動の支援を継続する。

(2) 「秋田の美×写真の力」継承事業・・・・・・・・472,750円

○「子どもカメラ教室」(259,650円)

国民文化祭イベントとして実施した「親子カメラマン教室」の継承事業として実施する。

子どもに対する撮影指導のスペシャリストで全国的に活動の実績がある中村こども氏を招き、写真への関心を高めるとともに子どもへの普及を図る。

○「子どもフォトコンテスト」(213,100円)

高校生までの子ども達が撮影した写真を多くの市民に鑑賞してもらい、その取り組みを広く発信するとともに、カメラ技術の向上と育成を図り、木村伊兵衛に次ぐ若者の輩出を目指す。

(3) 旧池田氏庭園「秋の園遊会」継承事業・・・・・・・・124,000円

○国民文化祭における仙北中学校生徒によるボランティアガイド、高梨小学校児童、大曲農業高校及び大曲高校生徒によるステージ発表が好評を得たことを踏まえ、地域の文化団体と連携し、次世代の文化活動の輪を広げ、地域の文化活動の発信と発展を目指す。

(4) 「荒川焼」出前講座事業【新規】・・・・・・・・573,000円

○「道の駅協和四季の森」併設の「遺跡・陶芸の里 荒川焼」で行われている陶芸体験講座を拡大し、生涯学習施設を訪れることが困難な市民を主な対象として、出前講座を実施し、生涯学習活動の普及充実を図る。

3. これまでの成果と今後の方向性

「秋の園遊会」や「木村伊兵衛写真展」において大仙市の芸術文化を広く県内外に発信できた。また、国民文化祭事業を通じて市内文化団体の連携が強化され、新たな文化交流を図ることができた。さらには、囲碁や写真で実施した「子ども普及事業」が、大仙市の特色ある子どもの体験活動の一つとして市民に認知された。このことから、今後は芸術文化団体の後継者育成と交流連携を図るとともに、次世代後継者としての子どもへの普及事業にも力を入れて事業を実施していく。

《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

国民文化祭大仙市主催各3事業および関連事業において、効果的だった取り組みを精査し、規模や地域ボランティアの状況を勘案したうえで、次年度以降の取り組みを計画する。また、国民文化祭を契機に市民の生涯学習活動気運が高揚していることから、生涯学習活動の普及や底辺拡大を目指す。

総合評価  
(今後の方向性)  
改善しながら  
継続

4. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
5,577			600	4,977

【その他】 18款 1項 1目:環境保全基金繰入金

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 5 目 16 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課 総合市民会館

(施策の大綱)芸術・文化活動の振興

(施策)芸術・文化活動の振興

(基本事業)芸術鑑賞機会の拡大

【事業名】 総合市民会館運営費

【説明項目】 自主事業公演について

【27年度】 39,860 千円 【26年度】 40,128 千円 【増減額】 △ 268 千円

## 1. 事業の目的及び目標

優れた舞台芸術を身近に鑑賞する機会を提供し、市民の芸術文化意識の発展と向上に資するため、4つの市民会館がそれぞれの特性を生かし、自主事業を効果的に実施する。

## 2. 事業の概要

- ・自衛隊音楽隊・クラシック音楽・演劇・映画・ポップス・落語・民俗芸能・能など幅広いジャンルの公演を市民に提供する。(各館の自主事業内容は別紙のとおり)
- ・大曲市民会館の6事業のうち2事業は「大仙市誕生10周年記念事業」として実施する。
- ・仙北ふれあい文化センターの2事業のうち1事業は「開館20周年記念事業」として実施する。

(単位：千円)

区分	事業費	入場料等収入	一般財源	収支比率
大曲市民会館 (6事業)	16,821	9,169	7,652	55%
中仙市民会館 (5事業)	10,286	5,276	5,010	51%
協和市民センター (4事業)	9,042	4,505	4,537	50%
ふれあい文化センター (2事業)	3,711	570	3,141	15%
合計	39,860	19,520	20,340	49%

※収支比率は、入場料等収入/事業費により算出

## 3. これまでの成果と今後の方向性

自主事業公演の内容は、市民からの意見や要望を積極的に取り入れるため、市民で構成している「大仙市市民会館等運営連絡協議会」において決定している。今後も多様化する市民ニーズに対応した、優良で魅力ある自主事業公演を展開していく。

《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

H26では人気アーティストのポップスやジャズコンサート、ミュージカルなど集客数の多い自主事業公演の実施と、宝くじ財団が主催する社会貢献広報事業「宝くじまちの音楽会」(3/7開催・チケット完売)の誘致がかない、アーティストに係る費用が必要ないコンサートを共催できたことで、一般財源負担の軽減が図られた。今後も各種助成制度の活用や各方面からの共催事業のオファーには積極的に手を挙げ、市民に喜んでいただける優良でなお、高い収支が見込まれる事業の実施に努めていく。

総合評価  
(今後の方向性)

改善しながら  
継続

## 4. 財源内訳

(単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
39,860			19,520	20,340

【その他】 20款5項3目：入場料等収入

平成27年度 4館自主事業公演

	事業名	実施年月日 (予定)	公演 形態	入場料金	入場 者数	事業費	入場料 等収入	一般 財源		
				(前売り)円	人				千円	
大 曲 市 民 会 館	1 ポップス系コンサート	7月～12月	自主	S席7,800	964	9,188	7,519	7,652		
	2 NEWストリングスコンサート	H28.2.11(木・祝)	自主	全席自由1,000	600	1,500	600			
	3 共催イベント	7月～12月	自主	S席6,000	800	2,200	0			
	4 大仙市誕生10周年記念事業 トルヴェールクワルテット	H27.10.17(土)	自主	S席3,000 学生1,000	500	2,604	1,000			
	5 大仙市誕生10周年記念事業 海上自衛隊東京音楽隊コンサート	7月～12月	自主	入場無料	800	804	0			
	6 NHK公開番組 上方演芸会	7月～12月	自主	入場無料	500	525	0			
				その他歳入	チケット販売手数料				50	
					H27年度予算	16,821	9,169	7,652		
					H26年度予算	18,513	13,567	4,946		
中 仙 市 民 会 館	1 陸上自衛隊東北方面音楽隊コンサート	7月	自主	入場無料	500	534	0	5,010		
	2 松竹特別公演「1部:錦絵夏すがた・2部:明日の幸福」	H27.9.4(金)	自主	S席5,000 A席4,500	500	3,758	2,325			
	3 中村雅俊アコーステックコンサート	10月	自主	S席5,000 A席4,500	500	4,781	2,400			
	4 宝くじ文化事業 劇団スイセイ ミュージカル 「クリスマス・キャロル」	H27.12.1(火)	自主	S席2,000 学生1,000	500	979	450			
	5 優秀映画鑑賞会	1月下旬	自主	全席自由500	200	234	100			
				その他歳入	チケット販売手数料				1	
						H27年度予算	10,286		5,276	5,010
					H26年度予算	10,076	5,176	4,900		
協 和 市 民 セ ン タ ー	1 自衛隊音楽隊コンサート	6月	自主	入場無料	500	522	0	4,537		
	2 大仙太鼓フェスティバル	7月	自主	一般1,000 学生 500	450	1,808	425			
	3 (クラシック)石川綾子バイオリンコンサート	11月	自主	S席3,500	450	2,313	1,575			
	4 能公演(喜多流)	9月	自主	S席8,000 A席7,000	320	4,399	2,475			
				その他歳入	チケット販売手数料				30	
						H27年度予算	9,042		4,505	4,537
						H26年度予算	9,439		4,665	4,774
仙 北 ふ れ あ い 文 化 セ ン タ ー	1 開館20周年記念 民俗芸能フェスティバル	9月～11月	自主	全席1,000	450	3,211	570	3,141		
	2 史跡の里ふれあいコンサート(自衛隊音楽隊)	10月	自主	入場無料	500	500	0			
				その他歳入	チケット販売手数料					
						H27年度予算	3,711		570	3,141
					H26年度予算	2,100	510	1,590		
合 計						H27年度予算合計	39,860	19,520	20,340	
						H26年度予算合計	40,128	23,918	16,210	

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 14 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の整備と活用

<b>【事業名】</b> 払田柵跡環境整備事業費 <b>【説明項目】</b> 復元材木塀建替工事等について				
<b>【27年度】</b> 16,884 千円 <b>【26年度】</b> 30,345 千円 <b>【増減額】</b> △ 13,461 千円				
<b>1. 事業の目的及び目標</b>  国指定史跡の保存を図るとともに、歴史を正しく理解できるように遺跡の性格や内容をわかりやすく復元して表現し、総合学習や生涯学習及び市民の憩いの場として市民の歴史的文化意識の醸成と地域振興に貢献できる史跡公園として整備する。 第3次史跡環境整備基本計画（平成15年度策定・文化庁承認）に基づき、年次計画による復元整備と遺跡保護のための事業を実施する。  ◆設定期間 平成7年度～平成35年度（予定） ◆目標数値 平成27年度末事業進捗率 27.25%（全体事業費1,000,000千円のうち272,500千円）				
<b>2. 事業の概要</b>  現在、主に外郭北東部の整備として、外郭北門付近の材木塀を平面表示で延伸しているが、これと並行しながら復元整備から約20年が経過して、一部倒壊した南門付近の材木塀の建替工事（2/2年次）を実施する。  <b>【平成27年度事業計画】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復元材木塀建替工事 10,832千円</li> <li>・材木塀平面表示工事 601千円</li> <li>・芝生広場側溝盛土張芝工事 1,026千円</li> <li>・復元材木塀建替工事設計監理業務委託 162千円</li> <li>・復元材木塀建替工事工事監理業務委託 691千円</li> <li>・復元外柵南門調査診断業務委託 2,798千円</li> <li>・事務経費（払田柵跡環境整備審議会委員報酬等） 774千円</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 16,884千円</p> ※国庫補助率 50%				
<b>3. これまでの成果と今後の方向性</b>  秋田県を代表する史跡公園として認知され、教科学習や生涯学習、グラウンドゴルフやレクリエーション利用など、多目的な活用の場として年間延べ約3万～3万5千人の利用実績がある。 第3次史跡環境整備基本計画に基づき、外郭北東部を中心に年次計画によって事業を行っているが、払田柵跡のシンボルの復元外柵南門やその他の復元建物などの大規模修理も必要となってきた。				
《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》  必要性：国指定史跡の保存・整備・活用上必要性の高い事業である。大仙市だけでなく秋田県を代表する遺跡として、保存のための環境整備を計画的に行い、史跡活用につなげるため必要であり、引き続き事業を実施していく。 有効性：盛土整地工事や遺構の一部復元は、遺構保護及び遺跡の性格を理解するうえで有効な方法である。				総合評価 （今後の方向性）  現状のまま 継続
<b>4. 財源内訳</b>				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
16,884	8,300			8,584
【国県支出金】 14款2項7目：払田柵跡環境整備事業費補助金				

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 15 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の保護保全と調査

【事業名】 払田柵跡土地買上事業費													
【説明項目】 払田柵跡指定地内の土地買い上げについて													
【27年度】	82,022 千円												
【26年度】	4,957 千円												
【増減額】	77,065 千円												
<p>1. 事業の目的及び目標</p> <p>史跡払田柵跡第2次保存管理計画書に明記された土地買上計画に基づき、国指定史跡「払田柵跡」指定地内の民有地等の公有化を図り、遺跡を解明するための発掘調査時のトラブル回避及び遺構の保存・保護を目的とする。また、土地買上事業と合わせて環境整備を進め、市の主要文化的資産として観光の振興、地域の活性化に活用していく。</p> <p>「史跡払田柵跡第2次保存管理計画書」（平成14年3月策定・文化庁承認） 平成12年6月から平成14年3月まで設置された「払田柵跡保存管理計画策定委員会」（委員：秋田県立博物館長、東北大学大学院教授、秋田大学教授、東北芸術工科大学教授、宮城県多賀城跡調査研究所長）において策定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 設定期間 平成14年度～平成35年度</li> <li>◆ 目標数値 平成27年度末進捗率 89.61% (平成27年度末買上計画面積 186,861.10㎡ / 全体計画面積 208,523.07㎡)</li> </ul>													
<p>2. 事業の概要</p> <p>外柵南門隣接地近くにある私有地（地目：宅地、畑）の買い上げ及び住宅等建物の移転に係る経費を補償する。</p> <p>【平成27年度事業費の内訳】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・ 不動産（土地）鑑定業務及び境界測量業務委託</td> <td style="text-align: right;">265千円</td> </tr> <tr> <td>・ 土地買上（宅地1,599.03㎡×単価7,500円/㎡）</td> <td style="text-align: right;">11,993千円</td> </tr> <tr> <td>（畑 821.00㎡×単価1,250円/㎡）</td> <td style="text-align: right;">1,026千円</td> </tr> <tr> <td>・ 建物等補償</td> <td style="text-align: right;">68,716千円</td> </tr> <tr> <td>・ 消耗品</td> <td style="text-align: right;">22千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">82,022千円</td> </tr> </table> <p>※国庫補助率 80%</p>		・ 不動産（土地）鑑定業務及び境界測量業務委託	265千円	・ 土地買上（宅地1,599.03㎡×単価7,500円/㎡）	11,993千円	（畑 821.00㎡×単価1,250円/㎡）	1,026千円	・ 建物等補償	68,716千円	・ 消耗品	22千円	計	82,022千円
・ 不動産（土地）鑑定業務及び境界測量業務委託	265千円												
・ 土地買上（宅地1,599.03㎡×単価7,500円/㎡）	11,993千円												
（畑 821.00㎡×単価1,250円/㎡）	1,026千円												
・ 建物等補償	68,716千円												
・ 消耗品	22千円												
計	82,022千円												
<p>3. これまでの成果と今後の方向性</p> <p>史跡の公有地化により、重要な遺跡が将来にわたり保護できるとともに、史跡環境整備事業の円滑な実施が図られている。</p> <p>また、大仙市内における文化的観光資源として、県内外から見学・観光客が訪れているほか、市民の憩いの場、催事開催、グラウンドゴルフ等レクリエーション利用など多目的に活用されており、保護と活用のバランスのとれた史跡エリアとして魅力の維持向上を目指すことで、さらに観光・地域振興、地域交流の促進などの効果が期待できる。</p>													
<p>《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》</p> <p>必要性： 国指定史跡の保存・整備・活用のため、必要性の高い事業である。 払田柵跡は国民的遺産であり、大仙市を代表する文化遺産（資産）として継続して整備・活用（文化的観光振興・史跡公園活用等）するためにも必要な事業である。</p> <p>効率性： 史跡払田柵跡保存管理計画（遺跡重要地区公有地化計画）に基づき、地権者の意向・同意を得ながら、引き続き効率的に事業を進める。</p>	<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p style="font-size: 1.2em;">改善しながら 継続</p>												
<p>4. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 15%;">市債</th> <th style="width: 15%;">その他</th> <th style="width: 30%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>82,022</td> <td>63,248</td> <td></td> <td></td> <td>18,774</td> </tr> </tbody> </table> <p>【国県支出金】 14款2項7目：文化財保存事業費補助金</p>		予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	82,022	63,248			18,774		
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源									
82,022	63,248			18,774									

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 17 事業

新規・**継続**・廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の整備と活用

【事業名】 旧池田氏庭園整備事業費

【説明項目】 味噌蔵保存修復工事・園路整備及び枯死植栽補植等について

【27年度】 22,908 千円 【26年度】 90,768 千円 【増減額】 △ 67,860 千円

## 1. 事業の目的及び目標

国指定名勝庭園の景観を保持しながら、築庭当時の景観復元整備を行い、広く活用できる文化財として観光視点を取り入れつつ地域振興を図ることを目的とする。

- ◆設定期間 平成16～45年度（予定）
- ◆概算全体計画事業費 1,000,000千円（文化庁承認額）
- ◆平成27年度末の進捗率 67.8%（事業費ベース）

## 2. 事業の概要

「保存整備」については、本家庭園内の土蔵(味噌蔵・内蔵3棟)のうち、味噌蔵の修復工事を年次計画に基づき実施するとともに、本家・分家庭園の枯死植栽補植を実施する。

「活用整備」では、本家庭園内に車イス対応のバリアフリー園路（メッシュ状の敷き砂利安定枠）を整備するとともに、普及事業として学習会等を実施する。

### 【平成27年度の主な事業内容】

味噌蔵修復工事及び庭園園路整備並びに枯死植栽補植等

・味噌蔵修復工事	10,000千円	（全体事業費64,050千円→2/4年次工事）
・工事監理業務委託費	2,000千円	
・園路整備工事	5,410千円	
・縮小模型製作業務委託	4,087千円	
・本家・分家庭園の枯死植栽補植等業務委託	540千円	
・事務費（旧池田氏庭園保存整備審議会委員報酬等）	871千円	
	計 22,908千円	

※国庫補助率 50%

## 3. これまでの成果と今後の方向性

庭園の保存整備と活用整備を進めることで、県内外からの誘客に対応ができ、文化的観光資源として活用することが可能となる。また、市民の憩いの場、催事等の文化的な多目的な活用の場も創出できるなど、観光・地域振興、地域間交流の促進に大きな効果が期待できる。

今後も全体計画（マスタープラン）である保存整備管理計画(文化庁承認)に基づき、H16～45年度までの30年間で10年毎に3期に区分し、国庫補助事業を活用し年次計画で整備を進める。

### 《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

必要性：国指定名勝の保存・整備・活用上必要性の高い事業である。  
旧池田氏庭園は国民的遺産であり、大仙市を代表する文化遺産（資産）として継続して整備・活用（文化的観光振興・史跡公園活用等）するためにも必要な事業である。

有効性：平成26年度は入園者数23,000人を数え、観光振興における効果がある。

総合評価  
(今後の方向性)

改善しながら  
継続

## 4. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
22,908	11,300	9,600		2,008

【国県支出金】 14款2項7目：池田氏庭園整備事業費補助金

【市 債】 21款1項8目：文化財保護施設整備事業債



# 事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 13 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 スポーツ振興課

(施策の大綱) スポーツ、レクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 生涯スポーツの振興

<b>【事業名】</b> 全県500歳・550歳野球大会関係費 <b>【説明項目】</b> 全県500歳野球大会及び全県550歳野球大会の開催について				
<b>【27年度】</b> 3,259千円		<b>【26年度】</b> 2,240千円		<b>【増減額】</b> 1,019千円
<b>1. 事業の目的及び目標</b> 「一生 スポーツ 一生 健康」のキャッチフレーズのもと、全県500歳・550歳野球大会を開催することにより、こよなく野球を愛する多くの熟年世代の心身の健康増進を図る。併せて、地域知名度の向上と観光宣伝及び特産品PRを通じて地域活性化を図ることを目的とする。 「高齢者が楽しみながら健康づくり」をモットーに、選手の健康面に充分配慮し、複雑なルールをスムーズ化するとともに、青少年の模範となるようスポーツマンシップを大切にしたい大会とする。				
<b>2. 事業の概要</b> <b>【全県500・550歳野球大会実行委員会】</b> 実行委員会 平成27年6月5日(金) 午後4時～ (神岡農村環境改善センター) ※予定 <b>【第24回全県550歳野球大会】</b> 抽選会 平成27年6月19日(金) 午後2時～ (秋田魁新報社本社) ※予定 大会期日 平成27年7月25日(土)～27日(月) ※予定 会 場 南外山村運動広場(主会場)、ほか3会場(全4会場) 出場チーム 24チーム <b>【第37回全県500歳野球大会】</b> 抽選会 平成27年8月7日(金) 午後2時～ (秋田市文化会館) ※予定 大会期日 平成27年9月19日(土)～23日(水) ※予定 会 場 神岡野球場(主会場)、大曲球場、サン・スポーツランド協和野球場、八乙女球場、ほか14会場(全18会場) 出場チーム 181チーム以上(目標) <b>【全日本500歳野球大会の開催へ向けての取り組み】</b> 500歳野球大会を全国各地へPR・普及するための活動を行うため、宣伝活動とプロジェクトチーム等の検討を行う。				
<b>3. これまでの成果と今後の方向性</b> 「高齢者が楽しみながら健康づくり」を合い言葉に、雪解けと同時に練習試合や交流戦が行われており、高齢者の健康づくりの一役を担っている。また、今後も更に充実した大会運営を行うため、会場設備の整備など野球環境の更なる向上を図る。  <b>全日本500歳野球大会「親父たちの甲子園」構想</b> <b>【PR・普及活動】</b> (1) マスメディアを活用した全国へのPR (2) 新聞、全国地方紙「事業局長会議」を活用したPR (3) 野球協会等の組織を通じた全国へのPR <b>【大会構想】</b> (1) 各県の予選を通過したチーム参加の奨励 (2) 40～50チームの参加を想定し、試合期間を1週間程度に設定				
<b>《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》</b>  大仙市を代表するスポーツイベントとして成長しており、出場を希望するチームが年々増加の傾向にある。 中高年齢層の方々、継続的にスポーツを行うことへの動機づけとなっており、生活資質の向上・健康づくりへの貢献、すなわち「一生 スポーツ 一生 健康」において有意義である。 また、全県500歳野球大会は、野球を愛する県内の中高年齢層の方々に広まり認知されていることから、これからは全国大会の開催に向けて、本格的に取り組んでいく必要があると考えている。				総合評価 (今後の方向性)  改善しながら 継続
<b>4. 財源内訳</b>				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
3,259			3,259	0
【その他】 18款1項1目 地域振興基金繰入金				

# 全日本500歳野球大会 開催構想

## 【経緯】

全日本500歳野球大会の開催も平成27年度で第37回を迎え、一昨年頃から選手をはじめ各方面の方々から全国大会開催についての話題が聞かれるようになった。

第36回大会には、厚生労働大臣杯に加え、文部科学大臣杯も恵贈され、さらに昨年からは全国版のマスメディアから番組で紹介していただく機会が増え、全国展開するには良いタイミングとなっている。

このタイミングを捉え、実行委員会内にプロジェクトチームを設置し、平成29年度に初の全国大会開催を目標に掲げ、本格的なPRと普及活動を全国展開する。

## 【500歳野球の魅力】

軟式野球の全国大会は一般の選手権大会から退くと、その後は40歳以上を対象とした「マスターズ野球大会」、60歳以上を対象とした「還暦野球大会」等がある。

現在、現役選手でプレーするには、50歳代を主力とした大会が全国的に少ない状況にあるが、500歳野球は50歳代を主力としながらも9人の合計年齢が500歳以上という特別ルールから、それぞれの戦略に合わせて50～80歳代まで幅広い年齢層でチーム編成する必要がある。

マスターズや還暦野球は、〇〇歳以上という年齢制限しかなく、選手9人の合計年齢は関係ないため、出場できる年齢に達したとしても次の世代が補強されると数年で選手として活躍する機会がなくなってしまう。しかし、500歳野球は健康で体が動く限り「生涯現役」を貫くことができ、まさに夢見る「親父たちの甲子園」となり得る。

さらには、選手9人の合計年齢が500歳以上であれば一度ゲームを退いても同じゲームに何度でも再出場が可能という、他の野球大会では類のないルールが中高年齢層には最大の魅力である。

## 【マスメディアによる500歳野球大会の取扱状況】

平成21年度	・ABS秋田放送局 「決勝戦をテレビ収録放送」
平成25年度	・日刊スポーツ新聞 「日本の元気探し隊： 神岡大浦クラブに挑戦」 ※全国版 ・NHKラジオ第1放送 「決勝戦を実況生中継」 ・秋田さきがけ新聞 「地方点描： 500歳野球、生涯現役を貫く選手」 ・テレビ朝日 「くりいむクイズ ミラクル9： クイズ形式で紹介」 ※全国放送 ・秋田さきがけ新聞 「永田町交差点： 石井参議院議員、500歳野球長寿社会に寄与」
平成26年度	・秋田さきがけ新聞 「秋田再探訪： 500歳野球 生涯現役の夢を追う」（創刊140年企画） ・秋田さきがけ新聞 「地方点描： 京都500歳野球と今後の展望」 ・秋田さきがけ新聞 「特別ルール解説ブックの完成」 ・NHK総合テレビ 「秋田市内のリーグ戦と選手の生き甲斐」 ※全国放送 ・FMラジオ 「タグ・チューン ドライビング： 秋田で驚きの500歳野球」 ※全国放送 ・日本テレビ 「あのニュースで 得する人 損する人： 長寿の秘訣をテーマに500歳野球」 ※全国放送 ・(株)KADOKAWA(旧 角川書店) 「秋田県民の謎： 500歳野球なるものがある」 ※全国版 ・共同通信社が大会初日を視察
平成27年度	・(株)楽天球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」が、大会協賛に加わる予定

### 【PR方法】

1. マスメディアを活用したPR
2. 国会議員等の著名人から協力をいただきPR（ルールブックの頒布等）
3. 野球関連組織を通じた全国展開のPR

### 【大会構想】

1. 各県の予選を通過したチームの参加奨励
2. 40～50チームの参加を目指し、大会期間を1週間程度に設定
3. 前夜祭（レセプション）を開催し、最低でも2泊以上滞在いただき、市内観光を視野に観光部局と連携した観光パックの奨励
4. 初戦で敗退したチーム同士が交流試合を行えるようにして、全参加チームが最低でも2回以上の試合ができるよう考慮

### 【方針と展望】

1. 実施に向けては、普及活動とPRを優先し、設備等については既存の資源を有効活用する
2. 『ローリスク & ハイリターン』を基本に、「大曲の花火」に次ぐ大仙市の看板事業を目指す

### 【その他】

- ・（京都府） 京都500歳野球連盟との提携
- ・（徳島県） 徳島新聞、阿南市「野球のまち推進課」との提携
- ・（神奈川県）座間市、（岩手県）宮古市、（宮崎県）宮崎市など、交流のある市町との提携
- ・（群馬県）館林市（日本還暦野球発祥の地）など、野球に精通した市町との提携
- ・ 東北各県の野球協会等へPRと普及